

> 2018年3月期  
 第3四半期決算説明資料〔IFRS〕  
 (2017年4月 – 2017年12月)

証券コード：5938

株式会社 LIXILグループ  
 2018年2月5日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています  
 各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	<b>営業利益</b>
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

パルマステイリーザ株式の譲渡契約締結により、パルマステイリーザ社及びその子会社に関連して発生する損益の全てが第2四半期より「非継続事業」に分類されています。比較のため前年同期も同様に組替を行っています。

## 第3四半期（3ヶ月）業績ハイライト

### ▶ 非継続事業からの損益を含む親会社帰属最終利益は、前年同期比+19%

売上収益は4,406億円、前年同期比+3.8%<sup>(1)</sup>

- LWT国内外事業（前年同期比+8.5%）、LKT国内事業（前年同期比+8.2%）が、売上成長を牽引

事業利益は280億円、前年同期比-17.9%<sup>(1)</sup>

- 主として積極的なマーケティング投資、売上好調による物流費増、国内ITシステム償却開始による費用増により減益

四半期利益（非継続事業からの損益を含む親会社帰属最終利益）は258億円、前年同期比+42億円

- 当四半期の一過性要因による影響（+68億円）<sup>(2)</sup>：子会社株式売却益、連結納税制度適用選択（日本）による純損益影響額（益）、米国税制改正による純損益影響額（益）など
- LIXILビバ上場による親会社に帰属する利益額の減少（-10億円）

LIXIL

(1) 継続事業ベース

(2) 一過性要因の税引前の損益項目については、実効税率を30%とした場合の税引後の四半期利益へのおおよその影響額を記載しています

3

## 第3四半期（3ヶ月）連結業績結果

### ▶ 事業利益は前年同期比18%の減少なるも、当期一過性要因により最終利益は前年同期比19%増

億円	(A)	(B)-(A)	(B)	(C)	(C)-(B)			
	17/3期 3Q（3ヶ月） 実績	非継続 振替額	17/3期 3Q（3ヶ月） 実績	18/3期 3Q（3ヶ月） 実績	前年同期比			
	前年度 報告額	差し引き <sup>(4)</sup>	前年度遡及 修正後 報告額	実績	増減 うち 為替影響	(C)-(B)	%	
売上収益	4,632	-387	4,246	4,406	65	160	3.8%	
売上総利益	1,492	-31	1,462	1,507	23	45	3.1%	
(%)	32.2%	-	34.4%	34.2%	-	-0.2P	-	
販売費及び一般管理費	-1,153	32	-1,121	-1,227	-18	-106	9.5%	
事業利益 <sup>(1)</sup>	340	1	341	280	5	-61	-17.9%	
(%)	7.3%	-	8.0%	6.4%	-	-1.7P	-	
非継続 含む	非継続事業を含む 四半期利益（3ヶ月） <sup>(2)</sup>	216	0	216	258	-	42	19.4%
継続 事業	EBITDA <sup>(3)</sup>	492	-9	483	435	-	-48	-9.9%
(%)	10.6%	-	11.4%	9.9%	-	-1.5P	-	

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当

(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費(非継続事業は除く)

(4) 非継続事業からの損益に振替え額（ヘルマステイラー社株式譲渡の決定に基づく振替え）

4

## 第3四半期（9ヶ月累計）業績ハイライト

### 増収減益。売上・当期利益はおおむね業績予想通りに順調に推移

売上収益は12,505億円、前年同期比+2.4%<sup>(1)</sup>

- LWT、LKT事業、および流通・小売り事業が、事業売却・非連結化<sup>(2)</sup>の影響を超える売上成長を牽引
- 国内事業では、前年同期比 新築売上+2.9%、リフォーム売上+1.6%

事業利益は686億円、前年同期比-10.5%<sup>(1)</sup>

- 主として積極的なマーケティング投資、売上好調による物流費増、国内ITシステム償却開始による費用増により減益

四半期利益（累計）（非継続事業からの損益を含む親会社帰属最終利益）は、386億円、  
 通期会社業績予想進捗率90%を達成

- 前期の一過性要因の剥落影響（-53億円）<sup>(3)</sup>：借入金返済による支払利息の減少、外貨建て借入金円転等により認識された為替差益の剥落など
- 当期の一過性要因による影響（+68億円）<sup>(3)</sup>：子会社株式売却益、連結納税制度適用選択（日本）による純損益影響額（益）、米国税制改正による純損益影響額（益）など
- LIXILビバ上場による親会社に帰属する利益額の減少（-27億円）
- ペルマステイリーザ社株式売却決定により計上された非継続事業からの四半期損失（-113億円）<sup>(4)</sup>

LIXIL

(1) 継続事業ベース (2) 持分法適用子会社化 (3) 一過性要因の税引前の損益項目については、実効税率を30%とした場合の税引後の四半期利益へのおおよその影響額を記載しています (4) 資産及び負債を公正価値で測定したことにより認識した税引後の損失額、および、経常的活動から認識された税引後損益の合計

5

## 第3四半期（9ヶ月累計）連結業績結果

### P/L主要項目は概ね通期業績予想達成に向けて順調に推移

売上総利益は前年同期比+3.1%（0.2pt改善）、事業利益は-10.5%、EBITDAは-3.5%

	(A)	(B)-(A)	(B)	(C)	(C)-(B)			(D)	(C)/(D)	
	17/3期 3Q実績	非継続 振替額	17/3期 3Q実績	18/3期 3Q実績	前年同期比			18/3期 計画	対計画 進捗率	
	前年度 報告額	差引 <sup>(4)</sup>	前年度遡 及修正後 報告額	実績	増減 うち 為替影響	(C)-(B)	%	通期計画	%	
継続事業	売上収益	13,337	-1,128	12,209	12,505	161	296	2.4%	16,800	74%
	売上総利益	4,217	-69	4,148	4,275	56	127	3.1%	-	-
	(%)	31.6%	-	34.0%	34.2%	-	+0.2P	-	-	-
	事業利益 <sup>(1)</sup>	738	29	767	686	12	-80	-10.5%	930	74%
(%)	5.5%	-	6.3%	5.5%	-	-0.8P	-	6%	-	
非継続 事業含む	非継続事業を含む 四半期利益 <sup>(2)</sup>	457	0	457	386	-	-71	-15.5%	430	90%
	EPS (円)	159	0	159	134	-	-25	-15.9%	149	90%
継続事業	EBITDA <sup>(3)</sup>	1,188	-2	1,187	1,145	-	-42	-3.5%	-	-
	(%)	8.9%	-	9.7%	9.2%	-	-0.6P	-	-	-

LIXIL

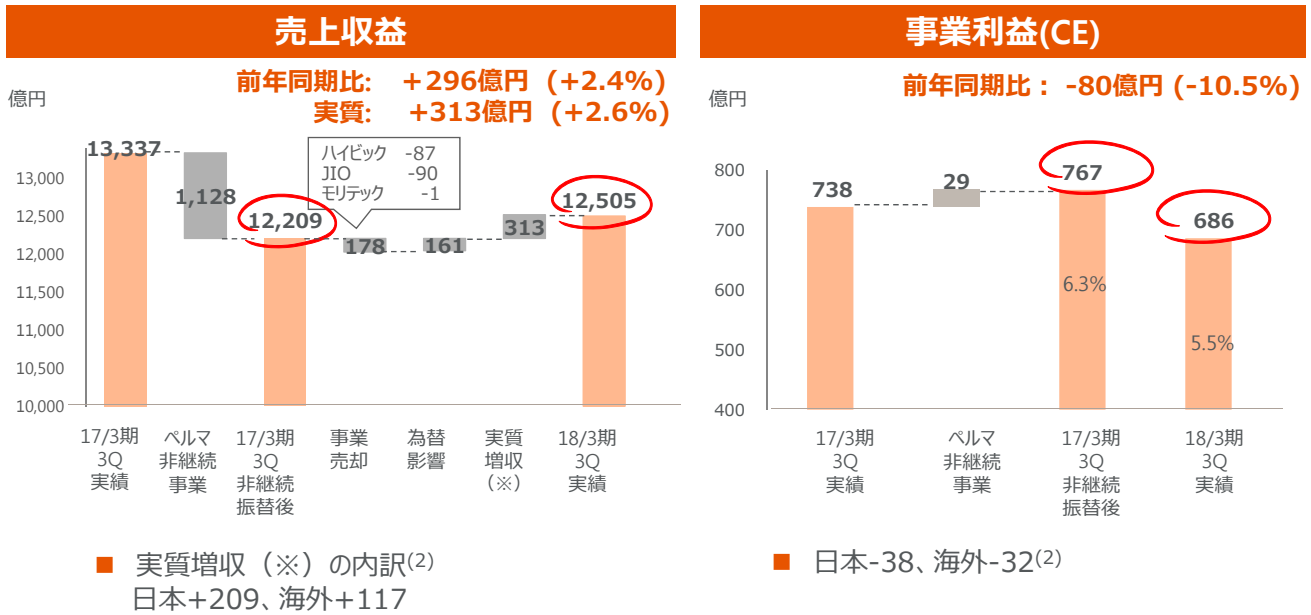
(1) 日本基準の「営業利益」に相当 (2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費(非継続事業は除く) (4) 非継続事業からの損益に振替え額（ペルマステイリーザ社株式譲渡の決定に基づく振替え）

6

## 第3四半期（9ヶ月累計）事業業績結果

▶ 実質ベース<sup>(1)</sup>で売上収益は前年同期比+2.6%、事業利益はIT関連費用や将来成長を目的としたマーケティング活動投資の増加・原材料および物流費の増加により減益



**LIXIL**

(1) 事業売却および為替影響を除く

(2) 売上収益分析中の「実質増収」額と「内訳」の差額、および事業利益(CE)前年同期比の額と、国内外内訳の差額は、「連結調整・他」の額

7

## 資産効率の強化

▶ 計画的な有利子負債の返済により、財務健全性確保のために引き続き注力

億円	(A) 17/3期末	(B) 17/12期末 <sup>(2)</sup>	(B)-(A) 増減	%
現金及び現金同等物	1,216	1,261	45	3.7%
有利子負債	7,599	7,124	-475	-6.3%
Net有利子負債	6,383	5,863	-520	-8.1%
資産合計	20,422	21,368	947	4.6%
自己資本比率 (%) <sup>(1)</sup>	26.8	29.0	+2.2P	-
Net Debt/Equity レシオ (%)	117	95	-22P	-

Net有利子負債 520億円の減少

- 主として2017年4月における491億円の期限前返済及び売却目的保有資産への振替による減少

資産合計 947億円の増加

- 主として、のれんの増加（新規連結化、為替影響）及び棚卸資産の増加

自己資本比率 2.2ポイント改善

Net Debt/Equity レシオ 22ポイント（117%→95%）改善

**LIXIL**

(1) 親会社所有者帰属持分比率

(2) ヘルマステイラー社及びその子会社を非継続事業に分類後

8

## 運転資本と設備投資

フリーキャッシュフローは、税引前利益減少の他、主として中東子会社への追加持分投資（連結子会社化）および将来成長に向けた衛生陶器の生産能力増強のための投資により減少

億円	17/3期 3Q	18/3期 3Q	増減額
税引前利益 <sup>(2)</sup>	733	437	-296
減価償却費及び償却費	450	483	33
法人所得税等支払	-240	-232	8
運転資本	-127	-86	42
その他	5	115	110
営業キャッシュフロー	822	718	-103
投資キャッシュフロー	-376	-479	-103
(うち有形・無形資産取得支出)	-452	-445	7
フリーキャッシュフロー	446	240	-206
財務キャッシュフロー	-222	-138	84
	⋮	⋮	⋮
現金及び現金同等物の期末残高	1,506	1,261 <sup>(1)</sup>	-245

LIXIL

(1) ヘルマステイラーザ社及びその子会社を非継続事業に分類後  
(2) 継続事業からの税引前四半期利益 + 非継続事業からの税引前四半期損失（9ヶ月）

9

## 事業構造の見直しと組織の簡素化に関する取り組みの状況

当第3四半期において実施/決定した取り組みの状況

社名/取引内容	セグメント	実施時期	実施理由
LIXIL-Haier Housing Products 100%株式譲渡	LKT 海外	2017/12	事業ポートフォリオの最適化、グループ内シナジーの追求を図るため
GraceA 吸収合併	LWT 国内	2018/3 予定	組織構造の簡素化を通じ、グループ内での意思決定のスピードを早めるため

引き続き、成長基盤の整備を目的としたバランスシートの改善と組織の簡素化を推進

※ヘルマステイラーザ社の状況については、セグメント別決算の概要：LBT のセクション（スライド17）ご参照

LIXIL

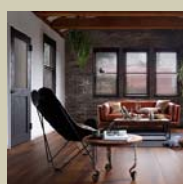
10



## 2018年3月期 第3四半期事業環境及びセグメント別決算の概要



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



LIXIL Kitchen Technology



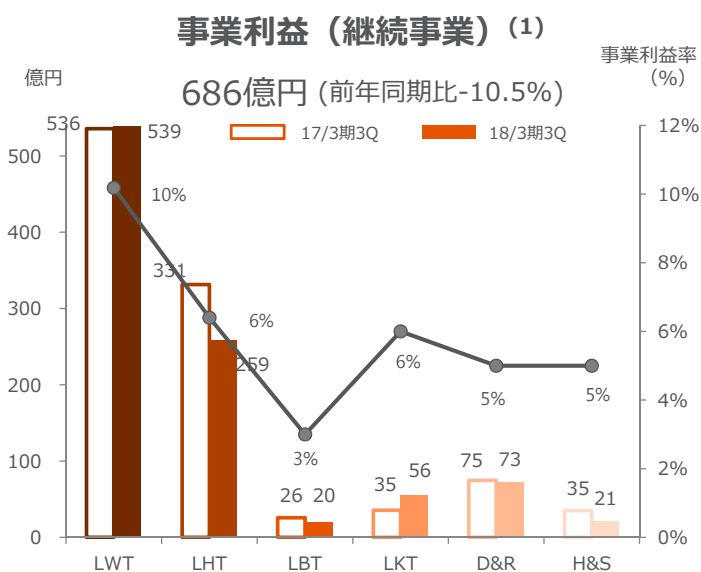
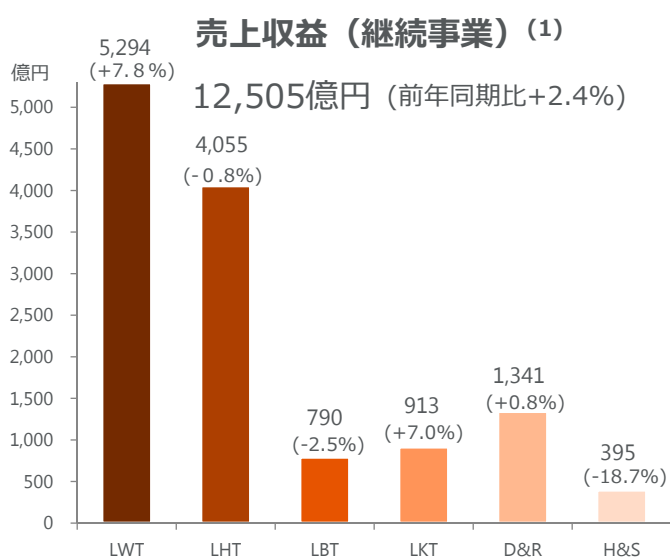
流通・小売り



住宅・サービス

## LIXILグループセグメント別業績

売上収益は前年同期比+2.4%、事業利益は前年同期比-80億円、-10.5%



※ 折れ線グラフ：18/3期3Qの事業利益率

## 事業環境のアップデート

### 主要地域における好調な建設・不動産市場環境が事業成長を後押し

日本	アジア太平洋地域	欧州	北米
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3四半期累計の新設住宅着工は前年同期比1.3%減</li> <li>■ 国が施策として省エネ既存住宅・DIY可物件の増加を後押し</li> <li>■ 安心R住宅制度の開始により、既存住宅流通及び売買の際のリフォーム工事の活性化が期待される</li> <li>■ 職人不足と職人の高齢化</li> <li>■ 人口の減少、高齢化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国では将来の需要の牽引役となる中間所得層の増加により、LWT商品群に対するブランド認知度が向上</li> <li>■ タイでは政情不安により、需要の弱い状況が継続</li> <li>■ インドでは高額紙幣廃止影響および税制改正(GST)による需要減からの回復が遅いものの、回復が見込まれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歴史的低金利政策が新築やリフォームへの投資を促進</li> <li>■ 省エネや節水技術に対する需要増によりLWT海外売上成長を後押し</li> <li>■ ドイツではインストーラー及び製品の不足が拡販のボトルネック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建設・不動産市況の好調を背景にビル事業の受注、水回り事業の売上伸長を後押し</li> <li>■ 衛生陶器の需要増</li> <li>■ インフレ影響の継続が懸念される</li> <li>■ 堅調なマーケット環境の継続により、リフォーム需要のさらなる成長が期待される</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原材料価格の上昇</li> </ul>			

## LIXIL Water Technology

### 日本・欧州・中国好調により増収増益

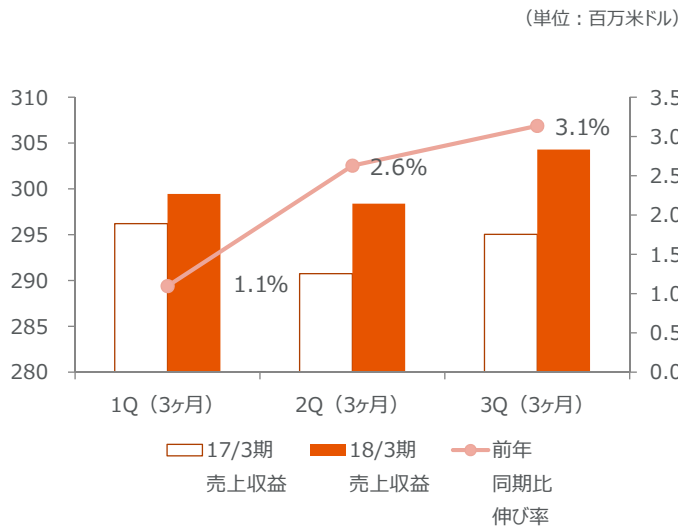
4月-12月 億円		18/3期 3Q	YoY	実質	18/3期 通期予想	
地域別売上 (1)	アメリカ	1,037		+2%	+6%	
	欧州、中東、 アフリカ地域	1,085		+5%	+5%	
	アジア太平洋地域	708		+5%	+15%	
	日本	2,460		+6%	+0%	
	連結調整	4				
	<b>LIXIL Water Technology</b>	<b>5,294</b>	<b>+8%</b>	<b>+8%</b>	<b>7,030</b>	<b>+6%</b>
事業利益 (1)	<b>LIXIL Water Technology</b>	<b>539</b>	<b>+1%</b>		<b>670</b>	<b>+3%</b>
	事業利益率	10%	-0.7pt		10%	

- 売上収益は前年同期比+382億円(+8%)
- **アメリカ**：  
売上成長のボトルネックとなっている生産能力の増強は着実に進行中
- **欧州、中東、アフリカ地域**：  
概ね計画通りに進捗。欧州では10%成長
- **アジア太平洋地域**：  
中国では10%を越える成長を継続
- **日本**：  
引き続き計画を上回って推移
- 事業利益は、国内外での戦略的マーケティング投資や原材料・物流費の増加などにより売上の伸びに対し低伸張

## Business Update - LWT-Americas

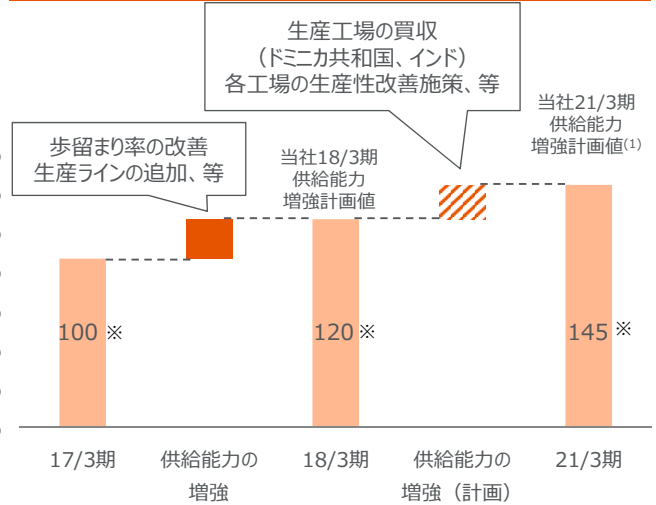
### ▶ 来期からの中期経営計画の実行に向け、供給能力不足への対応は順調に進行中

#### 四半期毎の売上収益の推移



※ 左軸：現地通貨（米ドル）3ヶ月ごとの売上収益  
右軸：前年同期比の売上収益の伸び率

#### 衛生陶器の供給能力不足への対応状況



※ 2017/3時点における当社北米地域向け  
製品供給能力を100とした場合の供給能力増強計画値<sup>(1)</sup>



(1) 将来における供給能力増強計画は、マーケットにおける需要およびその他状況を勘案し、将来見込まれる需要に対し最適な水準を目指した投資を行うことができるよう随時見直しを行っております。そのため、今後の検討の中で変更される可能性があります。

15

## LIXIL Housing Technology

### ▶ 実質増収なるも事業利益は将来成長のための先行投資等により減益

4月-12月 億円		18/3期 3Q	YoY	18/3期 通期予想
地域別売上	日本	3,945	-2% 実質:+1% <sup>(1)</sup>	0%
	海外	110	-	-
	LIXIL Housing Technology	4,055	-1% 実質:+1% <sup>(1)</sup>	5,370 -1%
事業利益	LIXIL Housing Technology	259	-22% 実質:-21% <sup>(1)</sup>	415 +6%
	事業利益率	6%	-1.7pt	8%

■ 売上収益は前年度のハイビック売却影響（-87億円）により前年同期比-32億円（-0.8%）、実質増収

■ 事業利益は、販管費の先行投入（IT費用の増加・マーケティングへの注力など）、原材料価格（アルミ、石油化学製品）・物流費の上昇により前年同期比-72億円



(1) 事業売却影響を除く

16



## LIXIL Building Technology

▶ 会社業績見込みに沿って進捗。ペルマスティリーザ社の株式譲渡にかかる諸手続も順調に進捗

4月-12月 億円		18/3期 3Q	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	788	-2%	-1%	
	海外	2	-58%	-95%	
	LIXIL Building Technology	790	-3%	1,090	-1%
事業利益	LIXIL Building Technology	20	-22%	40	-26%
	事業利益率	3%	-0.6pt	4%	

- 選別受注への取り組みを継続
- ペルマスティリーザ株式譲渡決定（2017/8）により、当期第2四半期から同事業は<非継続事業>として除外
- ペルマスティリーザ社株式譲渡に向けた主な手続の進捗状況
  - ✓ 競争法上のクリアランスは、米国、中国、ロシア3カ国全ての当局より取得完了
  - ✓ 米国の対米外国投資委員会（CFIUS）による審査継続中



引き続き2018年3月末までのクロージングを目指し、各種手続を進行中

## LIXIL Kitchen Technology

▶ 国内での力強い売上成長が利益率改善に貢献。第3四半期において年度利益計画を達成

4月-12月 億円		18/3期 3Q	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	844	+7%	0%	
	海外	69	+2%	+9%	
	LIXIL Kitchen Technology	913	+7%	1,150	+0%
事業利益	LIXIL Kitchen Technology	56	+57%	50	+16%
	事業利益率	6%	+1.9pt	4%	

- 国内テレビCM、新商品投入効果などに加え、リシェル、アレスタなどの中高級価格帯製品主力シリーズが売上を牽引
- 賃貸アパート需要増の継続がコンパクトキッチンの売上を後押し
- LIXIL-Haierの全株式について譲渡（2017/12）<sup>(1)</sup>  
ただし中国ではLIXILブランドによる事業を継続
- 事業利益は売上増収影響、操業度向上による製造コストダウンにより増益

## 流通・小売り事業、住宅・サービス事業他

### 増収なるも、一過性費用の発生を要因として減益

4月-12月 億円	18/3期 3Q	YoY	18/3期 通期予想		
D & R	売上 <sup>(1)</sup>	1,341	+1%	1,830	+6%
	事業利益 <sup>(1)</sup>	73	-3%	90	+23%
	事業利益率 <sup>(1)</sup>	5%	-0.2pt	5%	

- 前年同期比で売上収益はおおむね横ばい
- 事業利益は、リフォーム関連商品の利益増による押し上げ、既存店の経費削減などに努めたものの一過性費用の発生を要因として減益

### 子会社非連結化影響<sup>(4)</sup>により減収減益、但し既存事業は依然堅調

4月-12月 億円	18/3期 3Q	YoY	18/3期 通期予想		
H & S	売上	395	-19%	570	-11%
			(実質:-0.2% <sup>(2)</sup> )	(実質:+9% <sup>(2)</sup> )	
	事業利益	21	-39%	35	-21%
	事業利益率	5%	-1.8pt	6%	

- JIO<sup>(3)</sup>の非連結子会社化<sup>(4)</sup>影響による減収減益

LIXIL

(1) IFRSベース  
(2) 子会社非連結化影響を除く  
(3) ㈩日本住宅保証検査機構

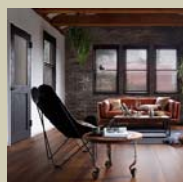
(4) 持分法適用子会社化

19

## ご参考



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



LIXIL Kitchen Technology



流通・小売り



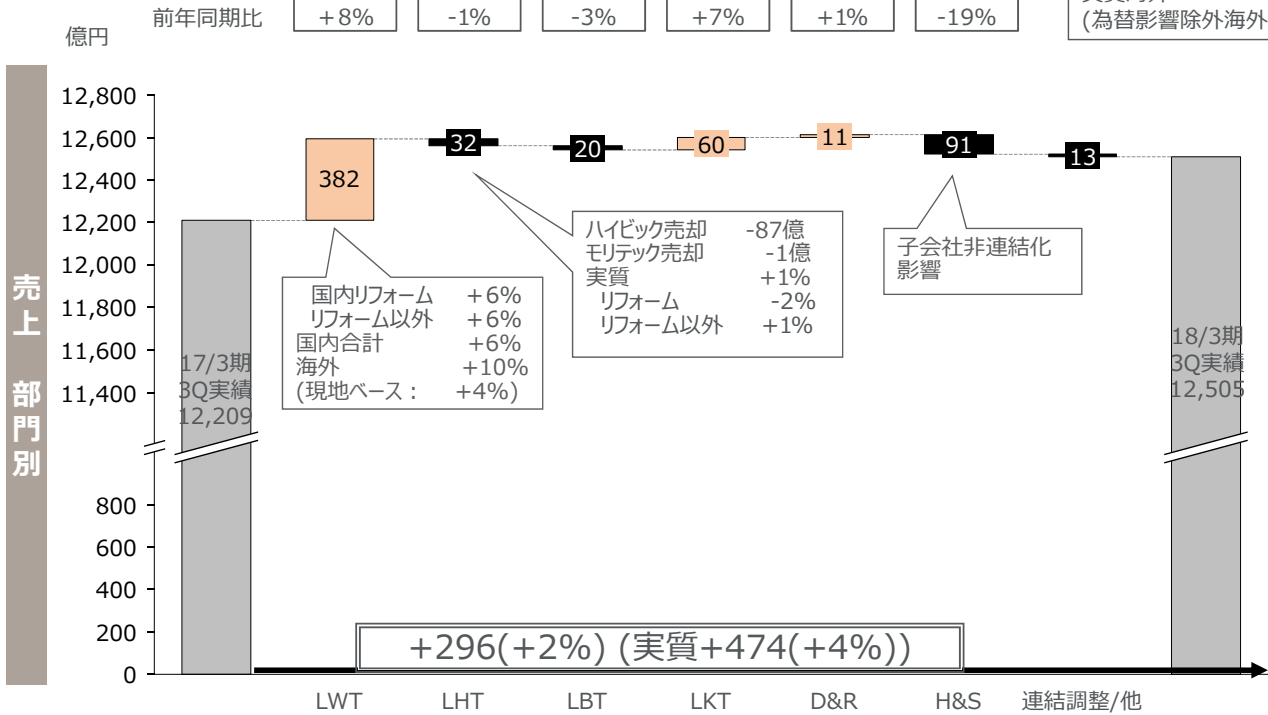
住宅・サービス

### 第3四半期 売上の増減 (前年同期差)

前年同期比

+2%

実質国内 +2%  
実質海外 +10%  
(為替影響除外海外+4%)

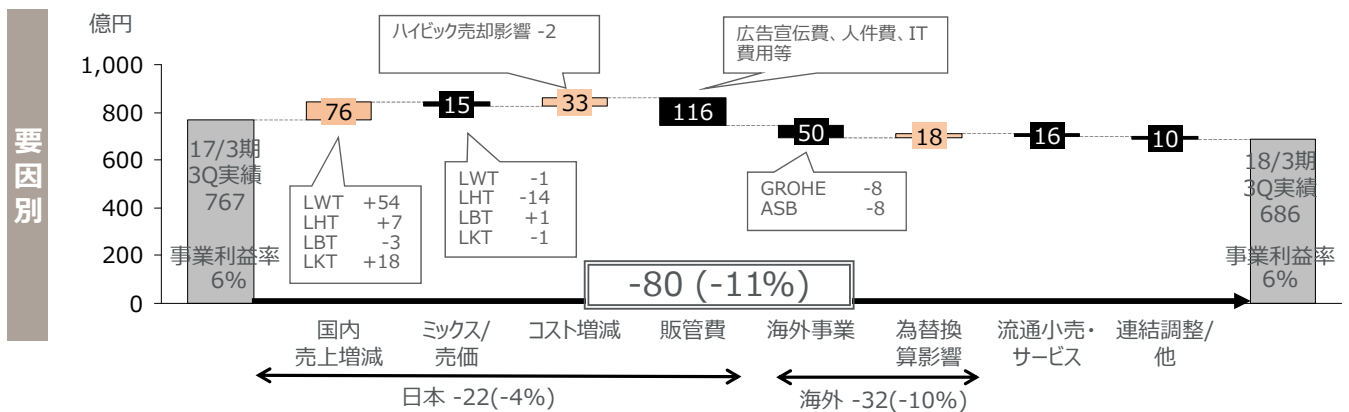
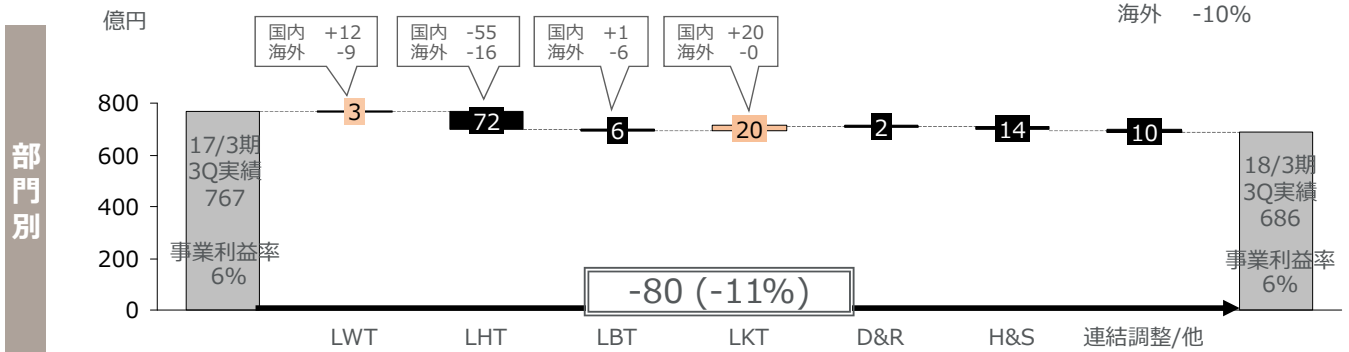


### 第3四半期 事業利益の増減 (前年同期差)

前年同期比

-11%

国内 -5%  
海外 -10%



## セグメント別実績及び予想

単位：億円		17/3期 3Q <sup>(1)</sup>			18/3期 3Q <sup>(1)</sup>			前年同期比%	17/3期 通期 <sup>(1)</sup>			18/3期 通期予想			前年同期比%
		国内	海外	計	国内	海外	計		国内	海外	計	国内	海外	計	
LWT	売上	2,325	2,587	4,912	2,460	2,834	5,294	7.8%	3,131	3,493	6,624	3,120	3,910	7,030	6%
	事業利益	234	301	536	246	293	539	0.6%	305	346	651	280	390	670	3%
	%	10.1%	11.6%	10.9%	10.0%	10.3%	10.2%	-0.7P	9.7%	9.9%	9.8%	9%	10%	10%	-0P
LHT	売上	4,009	78	4,086	3,945	110	4,055	-0.8%	5,319	122	5,441	5,300	70	5,370	-1%
	事業利益	316	16	331	260	-1	259	-21.7%	377	15	392	415	0	415	6%
	%	7.9%	20.4%	8.1%	6.6%	-	6.4%	-1.7P	7.1%	12.0%	7.2%	8%	-	8%	+1P
LBT	売上	804	6	810	788	2	790	-2.5%	1,096	7	1,104	1,090	0	1,090	-1%
	事業利益	29	-3	26	30	-9	20	-21.8%	56	-2	54	40	0	40	-26%
	%	3.6%	-	3.2%	3.8%	-	2.6%	-0.6P	5.1%	-	4.9%	4%	-	4%	-1P
LKT	売上	786	67	853	844	69	913	7.0%	1,065	83	1,147	1,060	90	1,150	0%
	事業利益	34	2	35	54	1	56	56.9%	42	1	43	50	0	50	16%
	%	4.3%	2.5%	4.2%	6.4%	2.0%	6.1%	+1.9P	3.9%	1.5%	3.8%	5%	-	4%	+1P
D&R	売上	1,330		1,330	1,341		1,341	0.8%	1,720		1,720	1,830		1,830	6%
	事業利益	75		75	73		73	-2.9%	73		73	90		90	23%
	%	5.6%		5.6%	5.4%		5.4%	-0.2P	4.2%		4.2%	5%		5%	+1P
H&S	売上	487		487	395		395	-18.7%	644		644	570		570	-11%
	事業利益	35		35	21		21	-38.6%	44		44	35		35	-21%
	%	7.2%		7.2%	5.4%		5.4%	-1.8P	6.9%		6.9%	6%		6%	-1P
連結調整・他	売上			-269			-282	-			-348			-240	-
	事業利益			-271			-282	-			-360			-370	-
LIXIL グループ	売上	9,740	2,738	12,209	9,772	3,015	12,505	2.4%	12,975	3,705	16,332	12,970	4,070	16,800	3%
	事業利益	722	316	767	684	284	686	-10.5%	898	360	898	910	390	930	4%
	%	7.4%	11.5%	6.3%	7.0%	9.4%	5.5%	-0.8P	6.9%	9.7%	5.5%	7%	10%	6%	+0P

LIXIL

(1) 17/3期3Qと17/3期通期はヘルマステリーザの株式譲渡契約合意に基づき、ヘルマステリーザ社及びその子会社を非継続事業への分類。それに伴い過去に開示した実績を組替。2017年3月期の数値は参考数値

23

## 第3四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

億円	17/3期 3Q実績	18/3期 3Q実績	増減額	注
貸貸収入	49	48	-1	
有形固定資産売却益	11	2	-9	
子会社株式売却益	3	52	49	
その他	34	35	1	
<b>その他の収益</b>	<b>97</b>	<b>136</b>	<b>39</b>	
貸貸原価	34	33	-1	
有形固定資産除売却損	19	13	-6	
減損損失	39	36	-4	
その他	47	45	-2	
<b>その他の費用</b>	<b>139</b>	<b>126</b>	<b>-13</b>	
受取利息	12	12	0	
受取配当金	13	12	-1	
デリバティブ評価益	48	-	-48	
為替差益	57	144	87	※1
その他	6	1	-6	
<b>金融収益</b>	<b>135</b>	<b>168</b>	<b>33</b>	
支払利息	70	35	-35	
デリバティブ評価損	-	132	132	※1
その他	1	15	14	
<b>金融費用</b>	<b>71</b>	<b>182</b>	<b>110</b>	

「デリバティブ評価損」は「為替差益」と両建てで、表示されています。

※1

	18/3期 3Q 実績
為替差益	144
デリバティブ評価損	132
Net	12 益 ※2

※2

2017年3月期3Qにおいて計上された為替差益57億円には、前期一過性の評価益計上額として以下のものが含まれています。

(1) ユーロ建て借入金円転時に計上された為替差益 (43億円)

(2) DBJからのユーロ建て借入金返済に伴う時価評価により計上された為替差益 (65億円)

計108億円

LIXIL

24

## 連結財政状態

億円	[A]	[B]	[B]-[A]			
	17/3月末	17/12月末	増減		(内訳) その他	増減合計
			(内訳) 売却目的で保有する資産/負債振替額 非継続事業 <sup>(3)</sup>	その他		
現金及び現金同等物	1,216	1,261	-103	0	148	45
営業債権及びその他債権	3,913	3,423	-560	0	70	-490
棚卸資産	2,046	2,262	-46	0	262	216
売却目的で保有する資産	9	1,943	1,939	4	-9	1,934
その他	13,239	12,480	-1,230	-4	475	-759
<b>資産合計</b>	<b>20,422</b>	<b>21,368</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>947</b>	<b>947</b>
営業債務及びその他の債務	3,505	3,360	-358	0	212	-145
有利子負債	7,599	7,124	-245	0	-230	-475
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	-	1,369	1,369	0	0	1,369
その他	3,723	3,000	-767	0	43	-723
<b>負債合計</b>	<b>14,827</b>	<b>14,853</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>26</b>	<b>26</b>
自己株式	-534	-501	0	0	32	32
その他	6,128	7,017	0	0	889	889
<b>資本合計</b>	<b>5,594</b>	<b>6,515</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>921</b>	<b>921</b>
<sup>(1)</sup> 自己資本比率 (%)	26.8%	29.0%				2.2
<sup>(2)</sup> 一株当たり純資産 (円)	1,902.18	2,140.11				237.93
期末株式数 (千株)	287,693	289,245				1,551

LIXIL

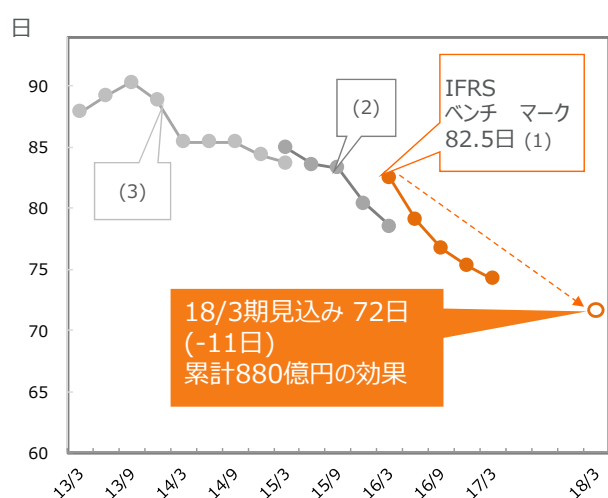
(1) 親会社所有者帰属持分比率  
 (2) 1株当たり親会社所有者帰属持分  
 (3) ヘルムステイラーサ及びその子会社にかかる評価減後の金額

25

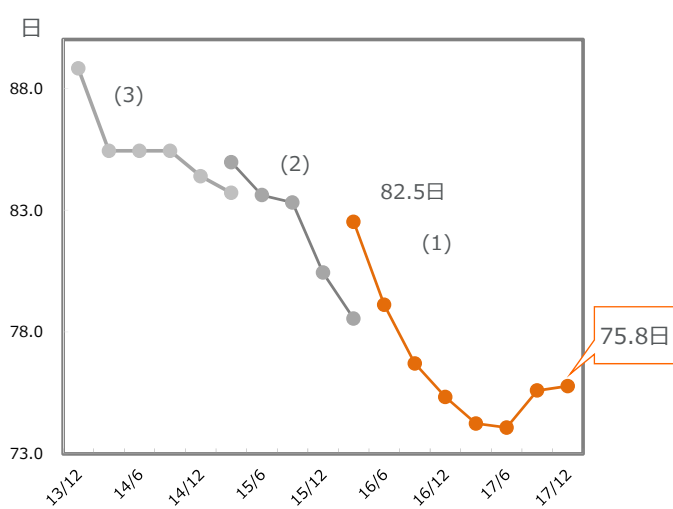
## CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)改善の状況

当第3四半期におけるCCC (キャッシュ・コンバージョン・サイクル) の状況は次のとおりです

### ■ 新ベンチマークと18/3期末までの見込み



### ■ 18/3期 3Q 実績



CCC変動の主な要因：在庫回転日数(DIO)の伸長、棚卸資産の増加（期末拡販に向けた在庫の確保）

LIXIL

(1) 16年3月よりIFRS管理  
 (2) 15年9月 中期経営戦略 "Redefine the Future"において発表(グローバル施策込み)。プロジェクトビジネスを除く  
 (3) 国内活動のみの効果

26



## 当第3四半期決算発表までに行った主な設備投資

### 成長を支えるグローバル生産体制の構築を継続

内容	セグメント	実行時期	投資理由
衛生陶器工場： 生産ラインの買収 (ドミニカ共和国)	LWT 海外	2017/11	北米市場に対する衛生陶器の生産キャパシティの拡充
亜鉛ダイカスト工場： 生産設備の導入 (タイ)	LWT 海外	2017/11	亜鉛部品を製造する新技術の導入
衛生陶器工場の買収 (インド)	LWT 海外	2018/1	インド、北米市場に対する衛生陶器の供給拠点の確保

## 国内組織の再編について

### 市場ニーズにより迅速に対応するサイクルを高速で回し、メーカーとしての競争力を強化するため、2018年4月より日本国内における組織を以下のとおり改編

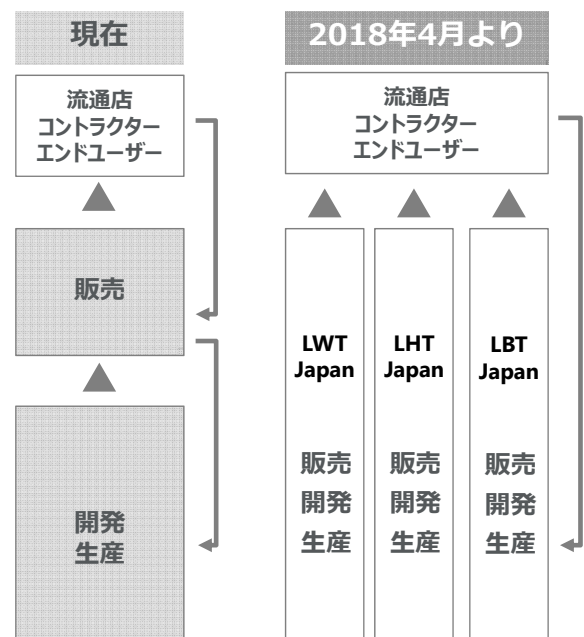
- 各テクノロジー事業の開発・生産・販売を一体的かつ効率的に統括する事業体制
- 非住宅マーケット（多階層のマンション含む）への包括的アプローチを行うため、LBT Japanに開発・生産・販売機能を統合
- 国内販売を横断的にサポートし、トータルソリューションやリフォームの提案に加え成長ビジネスを生み出す組織としてLJCを再編

LIXIL Water Technology Japan (LWT Japan)  
CEO：大西 博之

LIXIL Housing Technology Japan (LHT Japan)  
CEO：吉田 聡

LIXIL Building Technology Japan (LBT Japan)  
CEO：老川 忠志

LIXIL Japan Company (LJC)  
CEO：大坪 一彦



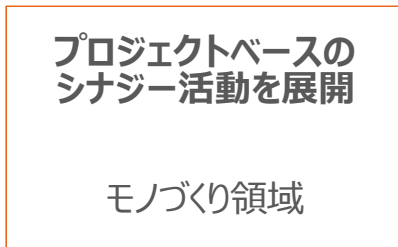
## 中期目標達成に向けたキー・ドライバー（LWT）

### › Synergy Creation Office (SCO) を2018年4月に設置

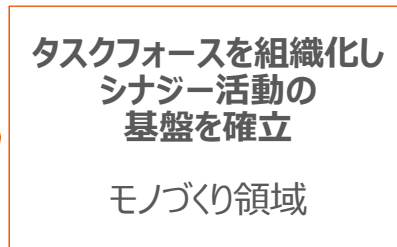
#### 目的

- LWTビジネス全体における、地域を跨いだシナジーの強化と真のインテグレーションを推進
- モノづくりに加え、コーポレート領域<sup>(1)</sup>を対象として、組織の壁を取り払い、リソースを最適化し、業務の効率化を強力に推進

2016年4月

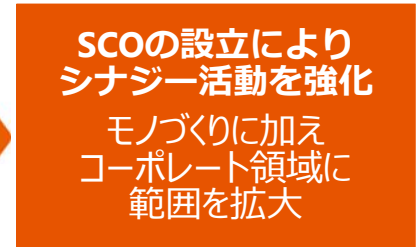


2017年4月



- 4領域にフォーカス：クロスセル、衛生陶器の生産、サプライチェーン、購買

2018年4月



- 20以上の活動テーマ
- 恒久的な組織
- Chief Integration OfficerのYC Chenが統括

更なるシナジー追求とインテグレーション強化

LIXIL

(1)人事、IT、財務、知的財産、ブランド、等

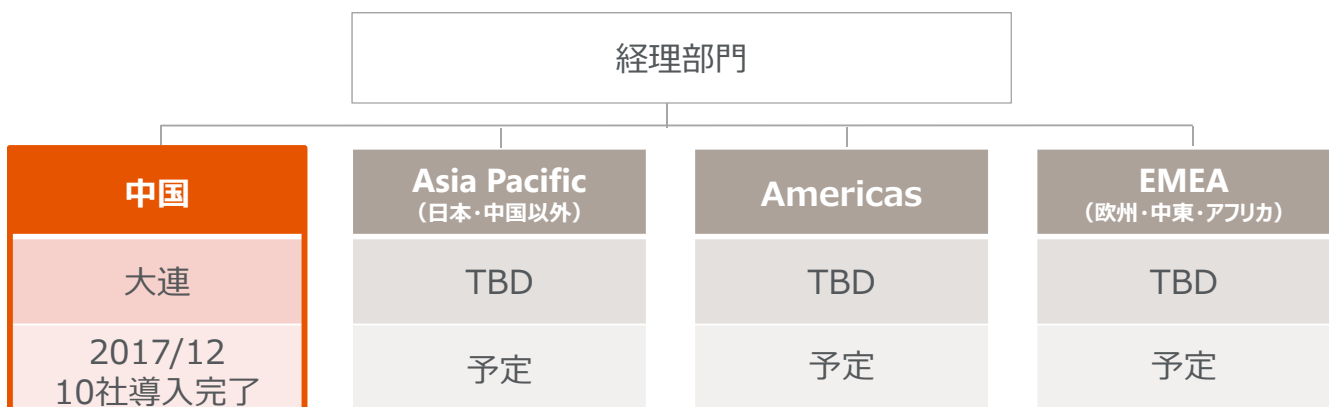
29

## 財務報告面におけるガバナンスの強化

### › Financial Shared Service Center (FSSC) を2017年12月より中国で運用開始（10社導入完了）

#### 目的

- 個社財務会計業務の透明性を高めることによるガバナンスの強化
- ファイナンス部門がより高度な専門サービスを提供し、事業のサポートができる体制を強化
- 複数拠点で個別に行っていた業務を1箇所に集約することによるスケールメリットの追求



LIXIL

30

## より豊かで快適な住生活をサポートするための取り組み

窓リフォーム商品「リフレム リプラス」が「COOL CHOICE LEADERS AWARD」において「環境大臣賞」を受賞

- 窓リフォーム商品「リフレム リプラス」が、環境省主催の「COOL CHOICE LEADERS AWARD」において「環境大臣賞」を受賞
- 最短で60分という施工時間で断熱窓への交換ができることによるエンドユーザー、プロユーザーの双方にとっての大きなメリット及び今後の窓リフォームの拡大に貢献する可能性が大きいことが評価されました



施工例

(1) 自社調べ

建材とAIスピーカーを連携させた国内初<sup>(1)</sup>のIoTシステム誕生

- より便利で安心な「これからの住まい」を実現するため、家電やデジタル機器だけではなく、玄関ドアや窓シャッターなどの建材までIoT技術でトータルにつながる、住まいのリンクシステムを開発
- 2018年4月発売予定

### LIXIL 住まいのIoTシステム

【発売時点でのイメージ】



## 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム売上・加盟店ともに伸長

### リフォーム商材売上

億円	17/3期 3Q実績	18/3期 3Q実績	前年 同期比
リフォーム商材売上	2,357	<b>2,395</b>	2%
リフォーム比率	37%	<b>37%</b>	+0P

### リフォーム加盟店の推移

店	16年 3月	16年 12月	17年 3月	17年 12月
LIXILリフォームショップ (FC)	480	503	519	<b>539</b>
LIXILリフォームネット (ボランティア)	12,492	13,164	13,227	<b>13,047</b>
リクシルPATTOリフォームサービスショップ	-	<sup>(1)</sup> 3,044	3,365	<b>3,664</b>

### オールLIXIL 無金利リフォームローン キャンペーン 期間2月まで延長

(概要)

- 金利はLIXILが負担
  - 融資金額：合計金額 20万円以上1,000万円以下
  - 最長60回分割 (5年)
  - リクシルPATTOリフォームのサービスショップ、LIXILのFC・VC加盟店などで、ローン会社のセディナの審査に合格した工事業者のリフォーム工事が対象
- ↓
- 工事単価アップ：平均工事金額200万円以上 (通常の現金払い平均工事の2倍以上)
  - 成約率アップ
  - 6-12月 前年同期比で申込金額1.2倍
  - LIXIL商品採用金額アップ

## (ご参考) 商品・サービス別売上状況

(単位：億円)

(単位：%)

セグメント	主要商品名	17/3期 通期実績 <sup>(3)</sup>	17/3期 3Q(9ヶ月) 実績 <sup>(3)</sup>	18/3期 3Q(9ヶ月) 実績	前年同期比 (%)
	バスルーム	934	704	771	9.4
	洗面化粧台	355	258	272	5.7
	タイル	291	214	217	1.4
LHT	住宅サッシ	1,991	1,516	1,477	-2.5
	エクステリア	1,087	823	818	-0.6
	リビング建材	604	452	456	0.9
	その他LHT	991	747	672	-10.0
LBT	ビルサッシ <sup>(1)</sup>	1,096	804	788	-2.0
LKT	キッチン	1,068	788	846	7.4
D&R	ホームセンター売上 <sup>(2)</sup>	1,720	1,330	1,341	0.8
H&S	住宅・サービス事業	644	487	395	-18.7
	海外売上	3,769	2,811	3,074	9.3
	その他・連結調整等 <sup>(1)</sup>	759	530	581	9.7
	売上合計	16,332	12,209	12,505	2.4

前年同期比						
17/3期 <sup>(3)</sup>				18/3期		
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
-2.1	3.3	7.2	8.5	11.4	6.4	3.3
-1.2	1.3	2.1	3.0	11.4	7.7	9.3
0.3	5.1	5.0	7.4	8.9	2.6	5.9
-1.4	-1.0	0.0	-1.1	1.1	3.3	-0.1
-3.9	-1.0	-4.1	-0.6	-0.3	-4.1	-3.1
0.6	-2.8	-4.9	-0.8	-0.5	-1.1	-0.4
8.7	2.9	0.7	3.4	-1.3	1.0	2.8
-5.3	-7.3	-23.2	-20.3	-18.5	-16.0	6.8
-17.0	-3.8	-7.6	5.8	9.1	-7.4	-3.8
2.6	2.1	2.4	3.1	8.0	6.1	8.2
-12.9	-10.3	0.3	-2.7	-0.2	0.9	1.7
5.0	17.3	9.9	1.0	-23.6	-28.0	-4.5
-15.0	-18.7	-12.8	-14.4	5.0	15.2	8.3
-	-	-	-	-	-	-
-7.2	-8.0	-6.7	-7.3	1.3	2.1	3.8



(1) 18/3期 第2四半期でビルサッシの数値をさかのぼってLIXIL子会社を含めたIFRSの値に置き換え、併せてその他・連結調整等も修正

(2) ホームセンター売上において2015年9月建デポのカープアウト影響を除いた前年比：17/3期 1Q：3.0%、2Q：7.8%

(3) 18/3期 第2四半期で非継続事業への振り替えに伴い前年度実績及び18/3期1Q前年比を遡及修正。ただし17/3期の前年同期比は変更せず。17/3期は参考数値。

33

## 主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)					
通貨・単位	単位：百万米ドル					
決算期	17/3期 3Q 実績	18/3期 3Q 実績	前年同期比	17/3期 通期 実績	18/3期 通期 予想	前期比
為替レート(期中平均レート)	107.88	111.82	-	109.03	115	-
売上高	811	851	5%	1,090	1,149	5%
事業利益	62	53	-14%	76	89	18%
事業利益率	8%	6%	-1.4	7%	8%	+0.8

決算期	17/3期 期末残高	18/3期 3Q (9ヶ月)		
		償却額	その他 <sup>(2)</sup>	期末残高
為替レート(残高は期末レート、償却は期中平均レート)	112.19	111.82	111.82	113.00
のれん	138	-	92	230
無形資産	235	-5	14	245
固定資産・在庫等再評価	-	-	-	-

会社名	Grohe Group (グロー-I)					
通貨・単位	単位：百万ユーロ					
決算期	17/3期 3Q 実績 <sup>(1)</sup>	18/3期 3Q 実績 <sup>(1)</sup>	前年同期比	17/3期 通期 実績	18/3期 通期 予想	前期比
為替レート(期中平均レート)	119.13	128.59	-	119.37	120	-
売上高	1,089	1,121	3%	1,391	1,506	8%
事業利益	132	126	-4%	191	218	14%
事業利益率	12%	11%	-0.9	14%	14%	+0.7

決算期	17/3期 期末残高	18/3期 3Q (9ヶ月)		
		償却額	その他 <sup>(2)</sup>	期末残高
為替レート(残高は期末レート、償却は期中平均レート)	119.79	128.59	128.59	134.94
のれん	1,215	-	-17	1,199
無形資産	1,532	-18	-12	1,503
固定資産・在庫等再評価	73	-	-	-



(1) GDWTを含む

(2) 17年10月におけるGROHE北米事業のASBへの移管による振替額、為替換算差額など

34



この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な  
要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。